

2021年ショパン国際ピアノ・コンクール第5位、豊潤な音色で魅了!



# レオノーラ・ アルメツリーニ

## ピアノ・リサイタル



©Lodovica Barbiero

2023.7/12(水) 18:45 開演  
(18:15 開場)

三井住友海上しらかわホール

全席指定 S¥5,500 / A¥4,500 (税込)

(チケット取扱い)

アイチケット 0570-00-5310

<https://clanago.com/i-ticket> 座席指定可能

チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:237-306] 座席指定可能

イープラス <https://eplus.jp> 座席指定可能

オフィス諷雅 <https://www.officefuga.jp/>

しらかわホールチケットセンター 052-222-7117

名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755

芸文プレイガイド 052-972-0430

※曲目・曲順などやむを得ず変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。※未就学児の入場はお断りしております。※A席(バルコニー席)はホールの構造上視界が遮られます。予めご了承ください。※車椅子席をご希望のお客さまはクラシック名古屋にお問合せください。

主催:クラシック名古屋 共催:オフィス諷雅

お問合せ:クラシック名古屋052-678-5310

一般発売

2023.

3/31(金)

### Program

ハイドン:アリエッタと12の変奏  
Hob.XVII:3 変ホ長調

F. J. Haydn : Variations in E flat major Hob.XVII:3

プロコフィエフ:「ロミオとジュリエット」より  
街の目覚め op.75-2

モンターギユ家とキャピレット家 op.75-6

別れの前のロミオとジュリエット op.75-10  
S. Prokofiev : From "Romeo and Juliet" op. 75:  
Scene (the street awakens)

Montagues and Capulets  
Romeo and Juliet before parting

プロコフィエフ:ピアノソナタ 第2番 ニ短調 op.14  
S. Prokofiev : Sonata no. 2 op. 14 in D minor

ショパン:ピアノソナタ 第3番 ロ短調 op.58  
F. Chopin : Sonata no. 3 op. 58 in B minor



©Lodovica Barbiero

なんと美しい輝きに満ちたサウンドなのだろう。

レオノーラ・アルメリーニの演奏を聴いた時の、私の第一印象である。2021年にワルシャワで開催されたショパン国際ピアノコンクールのオンライン配信を通して、歌心あふれる彼女の演奏に、多くの人々が引き付けられたに違いない。

1992年、イタリア北東部のパドヴァ生まれ。地元の音楽院を卒業後、17歳で名門サンタ・チェチーリア音楽院を最優秀の成績で卒業。18歳で挑んだショパン・コンクールでは「ジャンナ・ナウロッカ」賞を、そして11年後に再び参加して第5位を受賞した。

ほとぼしるパッションのなかに漂う気品は、プリマドンナを思わせる。豊かな質感の音が織りなすレガートは、アルメリーニの真骨頂であり、光沢を帯びたその響きは、聴く者を惹きつけてやまない。彼女の指のコントロールは緻密で、音の一つひとつに鮮やかな生命を与えている。また、デリケートな音楽の呼吸は、ショパン特有のルバートの表現にも大きく貢献している。落ち着いたまなざしとわき上がるような創造性は、ショパン・コンクールのファイナル出場者のなかでも際立っていた。

この来日公演のプログラムは、シンプルなスタイルの愛らしいハイドン《アリエッタと12の変奏》に始まる。プロコフィエフ《ピアノ・ソナタ第2番》の演奏には高度な演奏テクニックと多彩な響き、そして《ロミオとジュリエット》では劇的な表現が求められる。これらの作品は彼女の魅力を存分に引き出してくれることだろう。また、ショパンのピアノ・ソナタは、コンクールで演奏されなかった第3番をとりあげる。

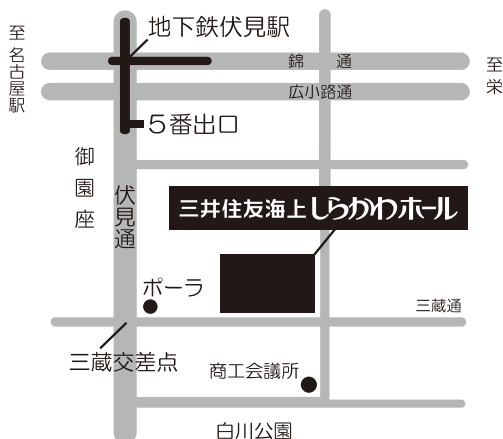
ショパン・コンクール以降、初来日となるアルメリーニのリサイタル。彼女の演奏をコンサートホールで聴ける日が待ち遠しい。

(音楽評論 道下京子)

## Profile

### レオノーラ・アルメリーニ (ピアノ) *Leonora Armellini, Piano*

2021年ショパン国際コンクール第5位入賞を果たし、これまでのイタリア人女性としての最高位に輝く。イタリアのパドヴァ生まれ。2010年にワルシャワで開催されたショパン国際ピアノコンクールでは素晴らしい音楽性と美しいサウンドを評価され「ジャンナ・ナウロッカ賞」を受賞。12歳でパドヴァ音楽院を優秀な成績で卒業し、ラウラ・パルミエリに師事。第16回ブゾーニ国際ピアノコンクールのファイナリストであり、17歳でセルジオ・ベルティカローリの指導の下、ローマの国立サンチェチーリア・アカデミーを首席で卒業し、ハンブルクでリリヤ・ジルベルシュタイン、イタリアではイモラ国際ピアノアカデミーにてボリス・ベトルシヤンスキーに師事。また、カーネギーホール、マリンスキー劇場、サル・コルトー、フェニーチェ劇場、マルタ・アルゲリッチ・プロジェクトなど、世界各地の重要なコンサートホールやフェスティバルにも出演している。また、ソリストとしてヴェネチア・フェニーチェ劇場管弦楽団、パドヴァ・ヴェネト管弦楽団、ヴェローナ・アリーナ管弦楽団、ミラノ・スカラ座管弦楽団、ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団、シンフォニア・ヴァルソヴィア、など多くのオーケストラと共演し、ヤツェク・カスプシク、アンドレア・パッティストーニなどの指揮者と共演している。室内楽にも熱心で、フォルテピアノ・トリオやデュオ・ピアニスティコ・ディ・パドバで定期的に演奏しており、AMARトリオのメンバーとしてイタリア音楽ジャーナリスト協会の名誉ある「アッピアーティ賞」を受賞した。また、ショパンのピアノ協奏曲2曲、シューマンの青少年のためのアルバム全曲など、多くのCDを録音している。



## 三井住友海上しらかわホール 〈地下鉄伏見駅5番出口徒歩3分〉

※ホール内では引き続きマスクの着用にご協力ください。※熱のある方(37.5℃以上目安)、頻繁な咳・くしゃみが出る方、その他体調に不安のある方は、ご来場をお控えください。また来場時に不調のある方、および非接触型体温計による体温確認によって体温の高い方は、入場をお断りさせていただきます。※開場時のホール入口、およびお手洗いでのご整列の際には、一定の間隔を空けてお並びください。※入場の際、ホール入口に設置の消毒液による手指消毒にご協力ください。